

2018年2月6日

長野県知事  
阿部 守一様

日本共産党県議団  
団長 小林伸陽

### 2月議会にむけた申し入れ

- 1、例年になく厳しい冬になっています。そして、昨年より石油製品が値を上げ続けています。緊急に福祉灯油を実施してください。学校・公共施設・福祉施設・病院等で暖房費が不足しないよう確認し、必要な予算措置してください。
- 2、草津白根山の噴火を受け、国に対して火山観測体制とともに情報伝達体制の拡充を求めてください。県としても抜本的な対策を行ってください。
- 3、こども医療費の窓口無料が8月から実施されることは大いに歓迎しています。7自治体では自己負担金なしの完全無料化を実施する方向です。県としても自己負担金を見直してください。福祉医療制度の対象である障がい者等についても窓口無料化を検討してください。
- 4、国民健康保険の都道府県化に伴い、国保加入者の保険料負担軽減、独自給付等のため市町村が講じている対策については広域化の下でも継続できるよう対応してください。
- 5、リニア中央新幹線工事受注をめぐる大手ゼネコンによる談合、工事による土砂崩落で松川大鹿間の交通制限、残土処分場の確保がされないまま工事がされるなど、住民生活への影響も含め JR 東海への不信は払しょくされていません。県は住民の立場に立って、JR 東海に工事の中止を求めてください。
- 6、林業行政において補助金の不適正事案の発覚がたびたび報じられ大変に遺憾です。すでに総点検を実施済みといわれているが、第三者による総点検を実施してください。森林税は凍結してください。
- 7、民泊法に対応する条例とともに、既存のホテル・旅館業等への支援など観光振興策を充実してください。